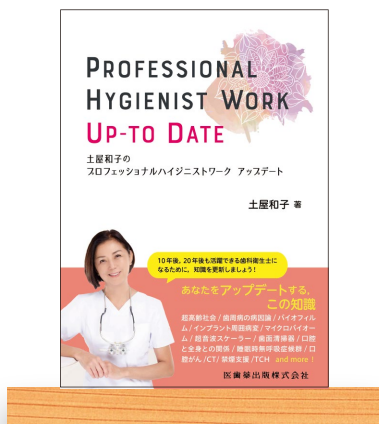


10年後、20年後も活躍できる
 歯科衛生士になるために、いま知っ
 ておきたい最新の知識を網羅!!



土屋和子のプロフェッショナルハイジニスト ワークアップデート

土屋和子 著

B5判変/112頁 定価 4,104円：本体 3,800円＋税
 医歯薬出版（2018年3月）

原宿デンタルオフィス
 評・山崎長郎（歯科医師）



本書を読み、「本当に現在のハイジニストはさまざまな知識・技術を広範囲に知らなければ成り行かない」としみじみ思った。著者の土屋和子は言わずもがな日本のハイジニスト界の強力な推進者であり、啓発家でもある。いつもながらうまく時代を先取りし、消化して自分のものにしていてと感じさせられる。

さて、今回のUP-TO DATEは第1章から第6章に項目が必要最小限に絞られている。この内容がまた要点を押さえたわかりやすいものである。また、おもしろいのはコラムで、本主に最新のトピックスをワンポイントで説明し

ている。

まず、第1章は時代とともに変遷してきた歯周病の病因論。この章では1980年から現在までの歴史的背景を解説していて、そのときそのときの概念の移り変わりとその確立をわかりやすく述べている。第2章では、歯科衛生士にとってメインの仕事であるSRPの重要なポイントを簡潔に要領よくまとめている。第3章も同じく歯面清掃について、上手に使用したら非常に効果があるものと解説している。第4章はこの本のUP-TO DATEたるゆえんである口腔と全身との関係をさまざまな角度にフォーカスをあて歯科衛生士としての全身管理の必要性を述べて、新しい進むべき道の指針を示している。第5章は口腔がんに絞って解説。この難関を正面から口腔内医療管理者の知べき知識と検査を解説して、われわれが見逃しがちな口腔粘膜疾患に一石を投じている。最後に第6章は誠にすばらしい内容で、現在いろいろな意味で注目されている問題を事細かくポイントを抽出し日常臨床に応用できる知識と対応を述べている。本来のハイジニストの仕事である口腔衛生のみならず全身の健康管理をもしなければ“真の医療人”たるとはいえないだろう。本章では、そのなかでも特に重要な項目を解説している。

読者の読み方はさまざまであるが、このような書はハイジニスト以外の人々にもインパクトを与えることであろう。

たぶん、このような本はこの筆者のように長い豊富な経験からしか導き出せない^{じゅう}希有な書である。ぜひ一読して、もう一度自分をリフレッシュすることをお勧めする。